

波紋

Ripple

2015年
1月

創刊
1985年(昭和60年)7月

No. 355号

第34回 家族忘年会



第34回家族忘年会も無事終わること
とができ、皆さんお疲れ様でした。
バリスタ争奪ビンゴゲーム・PV
Cデザインアワード受賞式・社長
のサプライズ企画などたいへん盛
り上がりしました。
また会長より、健康管理の大切さ
の話と音波歯ブラシを二十歳以上
の方へ一本づつ頂きました。年を
取って総入れ歯なんてことになら
ないよう、音波歯ブラシで毎日歯
磨きをし、歯を大切にしていきたいま
す。
恒例の森社長の仮装に皆来年も期
待しております。

伊藤雅典 (副幹事)

『2015年を迎えて』

社長 森 直樹



皆さん、明けましておめでとうございます。体感的な時
間の経過は、年を重ねるごとに早くなっております。この社
内報も、私はこの後11回書いたら、その次にはまた新年を迎
えているわけです。そう考えると一年もより一層短く感じま
す。無為に日々を過ごすことのない為にも、今年やるべき事、
また昨年出来なかつた事を明確にしておきたいと思えます。

・人材拡充
営業、製造共に、技術の伝承先となる若手が不足しておりま
す。もちろん、会社の目標とする売上・利益を達成した上で
の増員ですが、様々なリスクを回避する上でも一人一人に負
荷のかかり過ぎない体制が必要です。

・新規事業
モーリンモールにおけるウェブ販売、そしてアメリカでの販
売活動といずれもまだここで発表できるような成果を出せて
いない状況です。周囲の環境も刻々と変化していきませんが、
動かないことにはチャンスも掴めません。まだまだこれから
だと感じております。

・商品開発
まさしく日進月歩の世界ですが、これまで軟質素材には馴染
みのない加工技術も対応可能になりました。これらの
技術を組み合わせることで、今までに無い加工方法、また新
商品として展開できます。

いずれも、日々漫然と過ごしていると何事も進まずに時間が
経過していき、当然結果も出ません。何もしないということ
は、失敗に終わるよりも悪いことです。それは時間をロスす
るという点においては早い段階でそれが失敗なのか、成功す
る可能性が有るかかわかった方が次の手が打てるからです。そ
れも動いてみなければ見えないこともあります。ということ
で来年にはより新たなテーマをここで発表できるように、結果
を追求していきますので2015年もよろしくお願ひ申し上げま
す。

高齢者との戦い。

光田 昭男（企画営業部）



明けましておめでとうございます。

2015年も、おめでたくない正月を迎えなければならぬ状態になりそうだ。この原稿提出は、12月中旬の締切り、12月の初旬に毎年ながら父親が入院することになってしまいました。2014年の12月も手術をして入院。病名は、肺の病気で、気胸です。気胸とは、肺に穴が開いてしまう病気です。前回の退院が1月2日で、正月ながら看病することになり、父親のオムツを変えるとは、思い出したくないことがあります。父親も85歳だったので、入院すると体力が落ちてしまい、歩行自身も困難になり、2週間程ですが、寝たきり状態になってしまい、この先どうなるのか不安になり、悩んだことを思い出します。介護に対しての勉強もさせてもらいました。その後病状が回復することが無く再入院することになり、再手術をして約1カ月間の入院をし、リハビリ治療をこなして、歩行できるまで回復させていただき病院を退院しました。約2ヶ月間の戦いでした。またまた戦いが始まります。今回は前回よりも病状が良くありません。回復も悪くなっていることを医師から告げられています。86歳、いっどうなるか分からないですと・・・入院は3ヶ月間までと決められています。3ヶ月後のことも急がなければなりません。院内での相談室へも行きましたが、何をすることもお金が必要です。施設もピンキリです。相談させて頂いた担当者の女性は、30歳前後でとても印象が良い方でした。父親の病状の条件に合う施設+病院は限られてしまいます。出来れば年金以内での費用でお願いしたいし施設も近くが良いことを伝える。考えても悩んでも同じだと1年前を思い出して自分に言い聞かせています。

話は変わり、3年前には軽自動車を電柱に激突させて廃車にさせて、半年位は自転車での生活をしていましたが、年齢が年齢だからと車を降りることを進めたが、どうしても乗りたいと言われ、それじゃ最後だからと約20万円の軽自動車を購入する。半年も待てば、軽自動車も衝突防止のオプションが付くようになるからと説得したが、待つことが出来ず、オプションの搭載できない軽自動車を購入する。またしても壁に激突する。3ヶ月で廃車となつてしまいました。激突した場所が、駐車場の壁で良かった。もちろん壁の修理費は発生してしまいました。もし、人との接触と考えると壁で良かったと思います。不幸中の幸いで、車には乗らなくなり、毎日、自転車又は歩行で行動をしたおかげで健康になり、やはり歩くことが良いことなのだ。と父親から教えていただきました。がんばろ！

変えてみせよう

黒松 康郎（東京オフィス）



私が森松に入社させて頂いたのが、平成9年4月1日。来年4月で18年になります。最初は自宅兼事務所です。トさせて頂き、今のこの東京オフィスの汐留に来たのは多分当時の12月くらいに引越したと思いますので、ちょうど9年です。18年前の営業会議の資料に初めて自分の名前がのり、売り上げが約200万円/月というのを覚えていました。今は亡くなられましたが、当時本当に面倒見てくれたK社長にこの初めてのお仕事を頂きました。この時のK社長が50歳だったように覚えていて。私を面倒見てくれている人の年齢に私が達したときその人以上の事ができていないのだらうかと良く昔から考える時があります。18年前に森松に入社した時は、森会長は私の今の年齢と同じ50歳くらいかな。その時の森会長と比較すると、うん、全く負けずね。あと18年後、今の森会長以上の事ができるだらうか。18年間何をしても月日を歩んだのか、振り返ると本当にダメですね。我慢できることが何も無いや。K社長の会社にも何年お邪魔していかないのだらう、奥様、息子様は業種を替えたので縁も遠のいたが、あまりにも冷たくないだらうか。もう太って入らなくなったが、形見にスーツまで頂いたのになあ。誕生日を気遣ってくれている人に、その人の誕生日の気遣いもできない。いつの間にかこんな気遣いのできない人間になつたのだらうか。本当に感謝もできない人間になつてきたなあ。少し反省。今日はクリスマスです。12月に反省して、新年を迎える。私にとつたら「やり方をカエ」ル。新年にしたい。汐留に来て、10年目に突入。来年の今頃、明るく10周年のパーティーでもできるくらいたくさん仲間を増やさないかと。そう、昨日は人間ドックの結果が戻ってきました。「再検査」の域を超えて「精密検査」をしないといけない。これも来年は、「健康体」に戻さない。と。体も心も健康体に変えてみせよう。結局今年の12月の原稿も、昨年と同じ反省から来年こそは・・・今年になって

入社31年目

岩間正美（製造部）



明けましておめでとうございます。森松に入社して31年目を迎えました。友達が森松の面接を受けるのに付き合っ、現在の要工場の2階事務所に訪問し、私も入社することになったのが30年前の12月でした。浜の旅館で行われた家族忘年会に入社前に参加し、翌年の1月に入社しました。運送屋出身で、配送で入社しましたが、配送から営業になり、産業事務と会社内でも配属先が変わり、いろいろな経験をして今に至ります。面接に付き合った友達は2年程で退社してしまいました。この30年を振り返ると、いろいろなことがありました。入社した翌年から慰安旅行で、一年おきに海外旅行にも連れて行っていただきました。ハワイ、香港、カナダ、アメリカ、韓国、中国、オーストラリアなど、国内でも北海道から沖縄までいろいろなところに行くこともできました。1990年には新社屋（現在の本社）が完成し、新しい事務所での業務がスタートしました。新社屋完成時には5Fで家族忘年会を行い、屋上で焼き肉パーティーも行いました。どれも本当に楽しい思い出になりました。バツクナンバーを見て、懐かしい人たちの顔や、楽しかったことなどを思い出しました。もちろん苦しいこと、悩んだことも多々ありましたが、31年目の新たな年を迎え、心機一転。これからも頑張っていこうと思いま



2014グランプリファイナル

伊藤 雅典（製造部）



先日、男子フィギアスケートフリーのテレビ観戦していて、羽生結弦の優勝には久しぶりに感動させられました。中国グランプリで6分間練習時に中国選手と衝突し大怪我をし、完治に2〜3週間と言われ、療養に専念が精一杯で練習も間々ならなかった体で、良く優勝できたと思いました。そんな彼を観て元気をもらいました。その上、ソチオリンピック後、彼自身腰痛悩まされながら、今シーズンを迎えられたようです。しかしインタビューなどではまったく弱音を吐かず笑って試練のシーズンですね。と、笑って語ってました。若干20歳の青年ですが、驕ることなく、いつも謙虚な彼の姿勢には頭が下がります。また、彼のコメントで印象的だったことは、彼自身も震災の被害者でありながら、被災地の皆さんが日々苦勞して見えるのにスケートを続けていて良い物だろうかと言っていました。自身が在学する東北高校野球部が避難所でボランティアをしながら第83回選抜高等学校野球大会（春のセンバツ甲子園）に出場し、3月28日の初戦を全力で戦っている姿をテレビで観て、スケートへの意欲を取り戻したことです。その後復興支援目的のアイスショーへ多数出演して各地を転々としながら練習を続け、アイスリンク仙台が営業を再開したため、羽生も拠点を戻したそうです。ちなみに彼の尊敬する選手はセルゲイ・プルシェンコです。一時、彼の真似をしてマッシュルームカットをしていたことがあるほどです。あとアイスリンク仙台の先輩でもある荒川静香です。彼の演技には彼女の代名詞でもあるイナバウアーが競技種目に組み込まれています。彼はまだ年齢的にも若くまた、攻めスケートというか、難度の高い技に挑戦して行っているの、まだまだ伸びていくと思います。次回開催の韓国オリンピックでも優勝する可能性は高いと思います。女子フィギアの浅田真央と一緒に金メダルを取れば何も言うことはありません。ちよつと無理かな？



